

## 1. 研究課題名

人工知能 (AI) を用いた膵臓認識支援・膵充実性病変検出支援プログラム性能検証試験

## 2. 試料・情報

### (1) 利用目的

超音波内視鏡検査(EUS)は小さな膵臓癌の検出に有用であり、サイズが1cm以下の膵臓癌は、早期癌であり、その5年生存率は80.4%と報告されている。EUSは、80%を超える感度で小さな膵腫瘍を検出でき、これは他の画像検査と比べて高感度である。一方で、EUSにおける異常所見の検出率は42%との報告もあり、術者のEUS経験・症例数・習熟度には大きな差がある。

また医師が注視していない領域(画像周辺部など)に描出された病変などは見逃されるリスクはありと考える。このような状況から、超音波内視鏡検査において、検査で見落とされる可能性がある病変等を検出して画像表示し検査者に提示する『人工知能(AI)を用いた膵臓認識支援・膵充実性病変検出』を医療現場に提供する意義は大きいと考える。

以上より、超音波内視鏡検査におけるリアルタイムでの膵臓認識及び膵充実性病変検出を支援するための本プログラムの性能を検証することが本研究の目的である。

研究期間は研究承認日～2024年12月31日までです。

### (2) 利用項目、提供方法

本研究は、2023年9月から2024年12月の間に、超音波内視鏡検査を受けられた方の診療記録/内視鏡所見/病理採取した場合は病理組織を利用して行います。診療記録の場合:利用する情報は、性別、年代、合併症の有無などで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

本研究は多機関共同研究(研究代表者:伊佐山 浩通 所属:順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科)であり、当センター(院長 中島淳)は順天堂大学医学部附属順天堂医院(研究代表者:伊佐山 浩通)に診療記録から得られた情報/内視鏡所見/病理採取した場合は病理組織から得られた試料を提供します。その際、個人を識別できる情報は削除いたします。

### (3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター	伊藤 由紀子
順天堂大学医学部附属順天堂医院	伊佐山 浩通(代表研究責任者)
東京大学医学部附属病院	中井 陽介
愛知県がんセンター病院	原 和生

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター 消化器内科 副部長 伊藤 由紀子

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター  
〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22  
TEL : 03-3400-1311 FAX : 03-3409-1604  
担当 : 消化器内科 伊藤 由紀子